

**学年目標：「判断力・協調性・自主性・健康」**

夏休みもあっという間に終わり、二学期が始まって4日が経ちました。夏休み中、学校では大きな事件・事故はなく、まずはみなさんの行動に感心しています。二学期も、学年目標である「判断力・協調性・自主性・健康」を心がけながら一日一日大切に過ごしていきましょう。

1 7月進研模試の結果について

	国数英総合	国 語	数 学	英 語
小千谷高校平均点	83.7 点/300 点	35.1 点/100 点	26.8 点/100 点	21.9 点/100 点
全国平均点	104.7 点	40.2 点	32.1 点	32.3 点
小千谷高校偏差値	45.0	46.1	47.0	44.4
偏差値の分布	(人数)	(人数)	(人数)	(人数)
70～	0	0	0	0
60～69	0	4	1	0
50～59	20	41	42	21
40～49	111	69	89	100
～40	17	34	16	27

波線（偏差値50）が全国平均。この層に近づきたい。国語・数学は健闘！

<過年度の1年7月模試との比較>

数値は偏差値	2024 年度 (現 3 年生)	2025 年度 (現 2 年生)	2026 年度 (現 1 年生)
3 教科総合	47.0	47.0	45.0
国 語	46.8	48.0	46.1
数 学	50.8	49.8	47.0
英 語	44.4	44.1	44.4

7月の進研模試の結果が返却されました。高校入学後初めての全国模試で点数や偏差値が低くて落ち込んでいる人もいるかと思いますが、中学校の模試とは違い、進研模試は全国 44 万人の高校1年生が受験していて受験人数の母体が違うので偏差値が低くなるのも当然です。以下はベネッセの情報誌「マナビジョン」からの引用です。

偏差値とは、「全受験者の中での自分の位置」です。相対的にあなたの学力レベルを表す指標なので、「現在地」を把握する意味ではかなり役に立ちます。ただし、逆に言えば現在地さえ把握してしまえば、あとは特に気にする必要はありません。ゴール（＝合格）に近づくために重要なのは、現在地からの「道筋」です。現在地を押さえたら、できるだけ早く道筋に目を向けよう。偏差値よりも「どの教科・分野で、あと何点必要なのか」を追求しよう。

返却された進研模試の成績表をもう一度よく見てください。成績表にある教科の三角形のバランスを見て自分はどの教科が弱いのか、それぞれの教科の分野であと何点取れば一つ上のG T Z（ランク）に到達したのかなど自分の「現在地」を把握してください。そして、自分の成績アップに向けた「道筋」をつけていきましょう。**まずは苦手科目の克服です。**苦手科目をするのはしんどいことですが、時間をかけなければ克服できません。結果は今すぐ出なくてもいいのです。入試本番である高校3年生の冬までに実力をつけられいいのですから。また、マナビジョンでは今すぐ復習すべき分野を示してくれ、問題も出されています。模試を受けっぱなしが一番もったいないです。模試の結果が返却されてからが、利用方法として一番大切な部分です。これから学年が上がると模試の回数も増えていきます。せっかく受験しているので最大限に模試を活用してください。1回1回の模試の活用の小さな差が2年後の受験期では大きな差になります！

また、マナビジョンで見ることができる合格ラインをぜひ見てください。自分が行きたいと考えている大学との偏差値の差をしっかりと見てください。それが、これからの君たちの勉強への道標になります。ただ、目的なくやることは難しいです。しかし、現在地が分かり、目標とするとところがあるからそこへ行くための道が生まれます。その道をはっきりさせて、次の模試での目標を立ててみてください。簡単にワープする方法はありません。地道な1歩をしっかりと踏み出して、できれば目標を友達に話してください。

次回の模試は10月30日（金）です。学習の成果は3ヶ月後に出てくるといわれています。この夏休みに学習をがんばった人は、この模試あたりから少しずつ成果がでてくるはずです。逆に、夏休みにあまり勉強しなかった人は、これ以上差をつけられないように今日から真剣に取り組んでください。

2 夏季進学補習を行いました

夏休みの7月27日～31日の5日間、本校で夏季進学補習を行い、約50名が参加しました。国語・数学・英語で普段の授業より少し高度な内容にも関わらず、生徒は真剣に取り組んでいました。2年半後の大学入試に向けて今から高度な内容に触れておくことが大切です。2年後の3年生ではこの夏休み期間中でも、小千谷高校で進学補習を1日中行っています。1年生の皆さんは、今回その1歩として学習する習慣や、内容に触れてもらいました。これからの学習に役立ってもらえることや、この補習の成果が今後出てくることを期待しています。



3 「運気」をあげる4つの方法

高校野球の夏の甲子園大会で和歌山県の智弁和歌山高校が優勝しました。高校野球を見ていると選手のプレーはもちろん、監督によってさまざまな指導方針・チームカラーがあることがとてもおもしろいです。

そのなかで、岩手県の強豪校である花巻東高校に、現在メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手や菊池雄星選手などを育てた佐々木洋監督がいます。佐々木監督は指導してきた選手を見ていて、運をつかむ人は決して偶然ではなく、運をつかむために自らをコントロールしている人のもとにしか来ないことが分かったそうです。では何をコントロールしているかという監督は次の4つをあげています。（以下は佐々木監督の言葉）

①言葉には力がある。

「試合中、相手や審判を野次ったり悪口を言った瞬間に一気に運気は下がって、必ず次の回に点を取られたりするんです。いかなる場面でも愚痴や毒を吐かないということが、運気を下げない大切なポイントだと思います。」

②一緒にいる人を選ぶ。

「親は選べませんが、友人は選べますよね。自分の意思で誰にでも会いに行っていていい刺激を受けることができるわけです。」

③表情・態度・姿勢

「野球で逆転されてシュンとして落ち込んだり、逆に点を入れて大騒ぎしているチームにはあまり脅威を感じないんですね。逆に負けている時に笑顔でファイティングポーズが出るチームって怖いと思う。誰か一人でも不安になったりすると一瞬でチーム全体に伝染するので、監督の私も表情・態度のコントロールは常に心掛けています。」

④感謝と謙虚さ

「とにかく敵を作らず、味方を作ることが運を呼び込んでくると思います。態度が横柄だったり、悪口ばかり言っているチームは人がどんどん遠ざかっていきます。逆に謙虚にしていると自然と味方が増え、その人たちに感謝の気持ちを伝えると、さらに応援してくれるようになります。」

野球だけでなく、日常生活でも取り入れたいことばかりですよ。佐々木監督は4つの中で、特に「言葉」が大切だと言っています。私たちは、つい「疲れた」「自分には無理」「勉強に集中できない」「むかつく」などマイナスな言葉を言ってしまいがちですが、それが無意識のうちに自分や周囲に悪い影響を与えてしまうのです。愚痴や悪口ではなく、前向きな言葉を発することで自然と自分や周囲に良い影響を与え、それが自分のいい結果に結びつくのだと思います。自分は運がない、何をやってもダメだと思っている人は、まず愚痴や悪口を言わないことから実践してみてもいいのではないでしょうか？

＜保護者の皆様へ＞

① 舟陵祭（文化祭）について

9月12日（土）に舟陵祭が実施されます。詳しくは8月26日に配布した保護者宛文書をご確認ください。1年生各クラスの企画は下記の通りです。

- 1組 「走れメロス」
- 2組 「ワクワックワークショップ」
- 3組 「まっちゃんの手作り工房」
- 4組 「ホグワース魔法学校」

今年度の1年生の企画は、来場者へ体験をしてもらうや自分たちで作成するもので各クラス文化祭を企画しています。

② 夏休み明け、まずは「健康第一」で。

夏休み明けは、どの子も不安定な気持ちになりがちです。学習・部活動・人間関係など、生徒はいろんな刺激を受けながら学校生活を送っています。夏休み明けの最初は、食事・睡眠・適度な運動など、まずはお子様の「健康第一」をお願いします。

＜今後の予定＞

- 9月12日（土）舟陵祭（※昼食持参）
- 14日（月）代休
- 17日（木）月曜授業
- 25日（金）～29日（火）中間考査

※9月の行事予定は「Home Services」に配信しましたので、そちらでご確認ください。

◎携帯電話・スマートフォン使用時の一般的なマナー・心がけ

- ①書き込みを見る人に不安や不快感を与え、悪口やからかいと受け取られる表現は、絶対に記載してはいけません。
- ②他の人のことは絶対に記載せず、自他を問わずに個人を特定できる情報（学校名、学籍番号、顔写真、等々）を記載してはいけません。
- ③常識として他人の家を訪問すべきではない時間と同様に、『夜8時以降は通信（LINE、Twitter、Instagram等への書き込み）を控え、夜10時～朝7時は通信しない。』
- ④悪口の書き込みがあったら、スクリーンショット等で保存した上で担任等に相談する。
- ⑤人を客観的な根拠もなく疑ってはいけません。